

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：技術支援担当
 内線：3777

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B20	次世代型ものづくり製品開発支援事業			一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目	07 世界水準の中小企業	
							分野施策	030101 がんばる中小企業の支援	
<p>1 事業の概要</p> <p>新製品開発による新規ビジネスを展開しようとする企業の支援を行うため、外部専門家を「製品開発プロデューサー」として産業技術総合センターに配置し、商品企画から試作開発、販路開拓までを一気通貫支援し“売れるものづくり”を推進する。支援にあたっては、センターが有する既存の3D技術や、国の補正予算により導入した新設備(3Dデジタルゲ、X線CT三次元測定機)など、センターのシーズを最大限に活用して試作の迅速化を図るとともに、3D技術に関する企業技術者の人材育成にも取り組んでいく。</p> <p>(1) 次世代型ものづくり製品開発支援事業</p> <p style="text-align: right;">10,851千円</p> <p>効率的な事業運営を行ったことによる減及び事務経費の節減により生じた執行残の減</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>地域経済を牽引するリーディングカンパニーを輩出し、次世代産業分野への参入促進、新産業の創出を図るため、外部専門家の知見と3Dを含むセンターの基盤技術を活用し、新たなビジネス展開のための製品開発をしようとする特異・得意な高い技術を持つ中小企業を支援する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>(01) 製品開発支援</p> <p>ア 「製品開発プロデューサー」の配置 4名 16,696千円</p> <p>関東経済産業局が定めた「関東新産業創出戦略」において成長産業分野として位置づけられている4分野を中心に、民間企業等において新製品開発等の経験を有する外部専門家を「製品開発プロデューサー」として配置する。</p> <p>イ 支援テーマの選定とハンズオン支援 4プロジェクト 6,220千円</p> <p>外部競争的資金を獲得して新製品開発を目指す企業などのテーマを選定し、製品開発プロデューサーの一元的な管理の下に、デザイナーや3D技術の専門家等による支援を実施する。</p> <p>(02) 中小企業の技術力アップ 11,567千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3DCAD、3Dデジタルゲ、X線CT三次元測定機から3Dプリンタ出力用データ(STLデータ)に変換する手法の講習 ・設計データに実用条件を与え、コンピュータ上で各種シミュレーションを行う技術の講習 <p>(3) 事業効果</p> <p>地域経済を牽引するリーディングカンパニーを輩出することで、県内産業の底上げが図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>民間企業経験者等の外部専門人材を招へいすることにより、速やかに事業効果を発揮することが可能になる。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>(1) 次世代型ものづくり製品開発支援事業：効率的な事業運営を行ったことによる減額及び事務経費の節減により生じた執行残の減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>地方交付税措置あり</p> <p>産業技術総合センター費</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×3人=28,500千円</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	諸収入						
決定額	10,851	10,351	500					23,632	
現計額	34,483	33,983	500						